

心肺蘇生法の手順

①反応（意識）を確認する



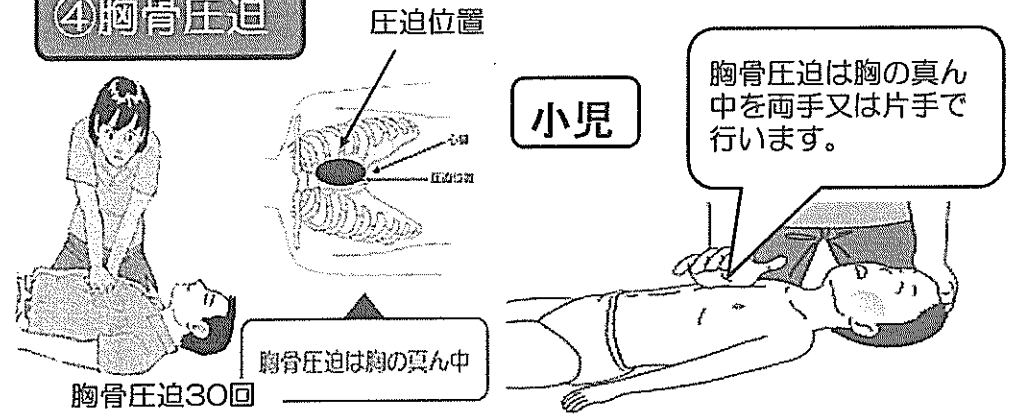
②119番通報とAEDの手配



③呼吸の確認



④胸骨圧迫



普段どおりの呼吸が無いと判断したら、ただちに強く・早く・絶え間ない胸骨圧迫を開始します。

成人 強く：胸が約5 cm沈むまでしっかり圧迫

小児 強く：胸の厚さの1/3が沈むまでしっかり

早く：1分間に100～120回のテンポ

絶え間なく：中断は、最小に

⑤人工呼吸

約1秒かけて、胸の上りが見える程度の量を、2回吹き込みます。

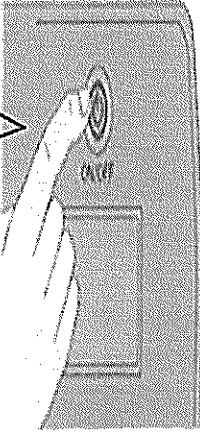


※人工呼吸をすることに躊躇がある場合は、胸骨圧迫のみ実施してください。

⑥ AEDが届いたら

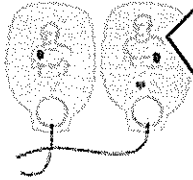
(1) AEDの電源を入れる

まず、電源
を入れる。

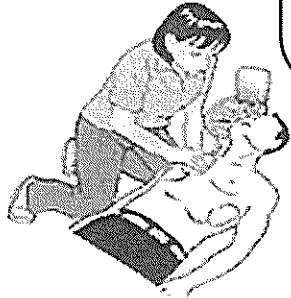


ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。

(2) 電極パッドを貼る



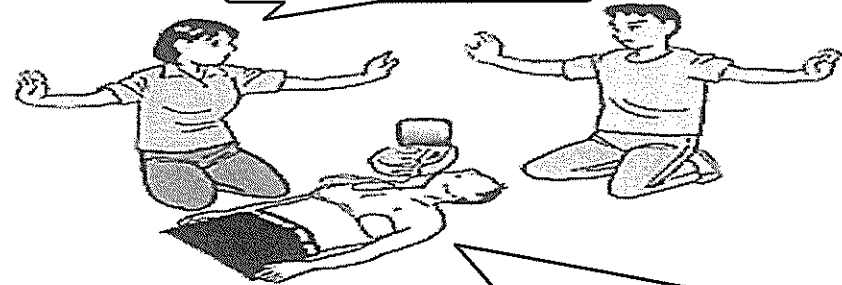
電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかりと貼ります。体が汗などで濡れていたら、タオル等で拭き取ってください。



※おおよそ6歳ぐらいまでは、小児用パッドを貼ります。小児用の電極パッドがなければ、成人用の電極パッドを代用します。

(3) 心電図の解析

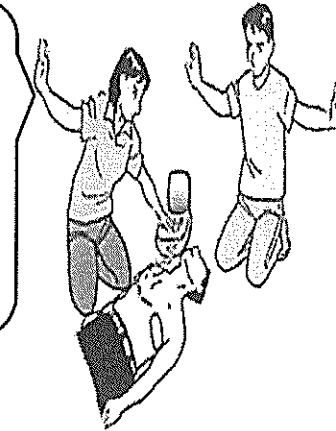
離れて下さい。



心電図解析中は、傷病者に触れてはいけません。

(4) 電気ショックの実行

誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押します。



ショックボタン

以後は、AEDの音声メッセージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引継ぐか、何らかの応答や目的のあるしぐさ（例えば、嫌がるなどの体動）が出現したり、普段どおりの呼吸が出現するまで続けます。